

地域の概要

1 管内図と普及センターの配置

胆振管内の農業は、登別市、白老町間を境として東胆振地区（1市4町）と西胆振地区（3市3町）に大別される。東胆振地区は稲作や野菜、花き園芸のほか、酪農、肉用牛、養鶏などの畜産、さらに軽種馬もみられる。



一方、西胆振地区は、道内有数の野菜産地で、数多くの品目が栽培されているほか、高級菜豆をはじめとする畑作、りんご等の果樹、酪農、肉用牛、養鶏などの畜産が行われている。

一方、西胆振地区は、道内有数の野菜産地で、数多くの品目が栽培されているほか、高級菜豆をはじめとする畑作、りんご等の果樹、酪農、肉用牛、養鶏などの畜産が行われている。

普及センターの配置	担当区域
胆振農業改良普及センター(本所)	室蘭市・登別市・伊達市 豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町
胆振農業改良普及センター 東胆振支所	苫小牧市・白老町・安平町 厚真町・むかわ町

2 気象

春の訪れが比較的早く、夏は蒸し暑さがなくさわやか。秋は好天の日が多く安定した気候が長く続き、冬も対馬海流の影響を受け、山間部の一部を除き温暖で積雪が少ない。

観測点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	伊達市	-4.0	-3.7	-0.3	5.6	10.7	14.7	18.7	20.7	17.0	10.9	4.2	-1.1
	むかわ町	-6.6	-6.0	-1.2	4.8	10.0	14.2	18.2	20.2	16.2	9.9	3.3	-2.6
降水量 (ミリ)	伊達市	46.7	41.6	46.5	72.5	75.5	59.6	88.8	150.5	116.5	97.4	80.3	56.4
	むかわ町	31.0	23.4	46.3	76.1	95.4	72.4	114.8	179.6	136.7	82.7	71.1	47.5
日照時間 (時間)	伊達市	80.7	104.8	151.0	167.4	160.2	127.8	105.3	116.6	141.8	148.8	91.8	69.5
	むかわ町	117.6	134.0	162.8	154.1	150.2	110.6	91.6	113.7	132.5	144.4	110.3	105.0

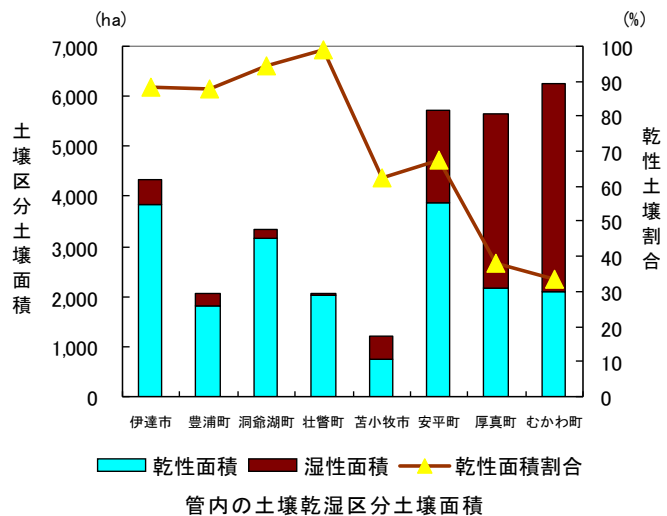
3 土壌

西胆振は乾性型火山性土が多く占めている。東胆振は多湿黒ボク土、灰色低地土、グライ土が多いため、暗きょ排水整備事業を進めている。

管内の土壌型と分布面積

土壌型	分布面積ha	割合 %
黒ボク土	16,029	52.4
多湿黒ボク土	2,237	7.3
黒ボクグライ土	1,925	6.3
褐色森林土	2,080	6.8
灰色台地土	80	0.3
褐色低地土	1,574	5.1
灰色低地土	4,848	15.8
グライ土	1,829	6.0
泥炭土	15	0.0
合計	30,617	100

北海道立中央農業試験場 昭和56年 地力保全基本調査



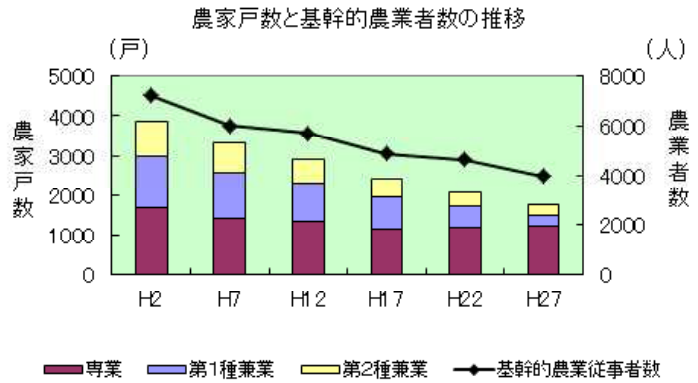
管内の土壌乾湿区分土壌面積

4 農業の生産構造

(1) 農家戸数と基幹的農業従事者数の推移

農家戸数は年々減少しており、平成27年農林業センサスでは、15年前に比べ39%減少し、1,785戸となっている。

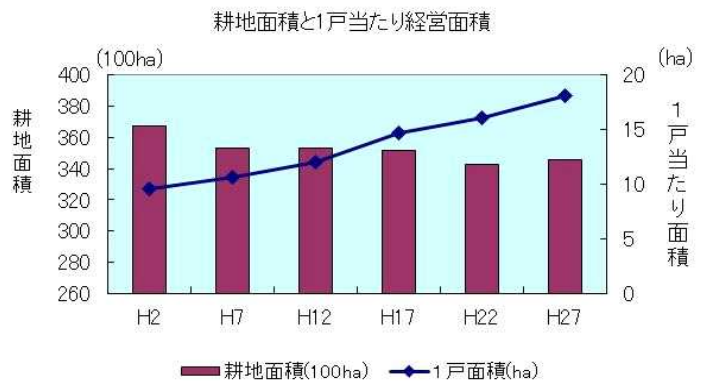
農業従事者数も39%減少し、4,023人に減少している。



(2) 耕地面積と一戸当たり面積

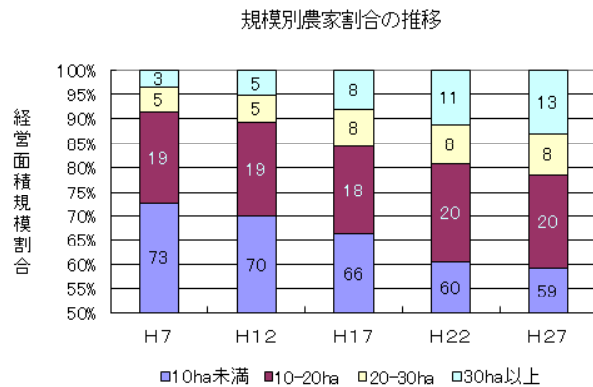
平成27年農林水産統計での耕地面積は、約34,600haである。平成7年より35,000ha前後で推移している。

農家戸数も減少し、1戸当たりの平均耕地面積は、約19haである。25年間の経過を鑑みると増加傾向にある。



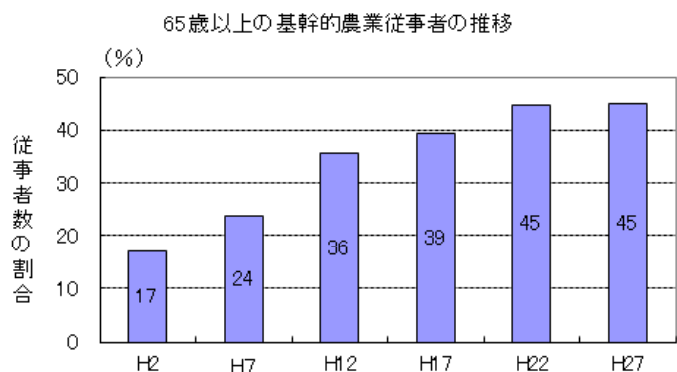
(3) 規模別農家割合の推移

20年間に10ha未満の階層が減少する一方、30ha以上の階層が経過的に増えている。



(4) 高齢化する農業従事者

65歳以上の農業従事者は、45%占め、高齢化が進んでいる。

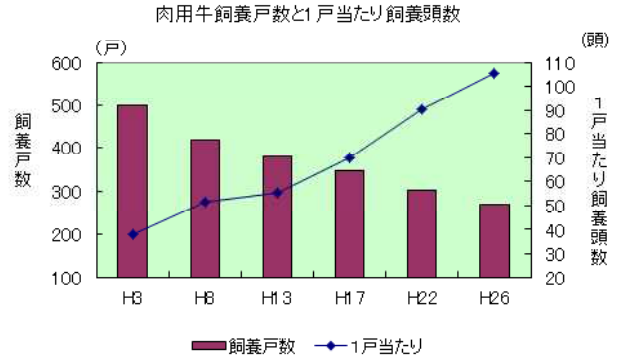
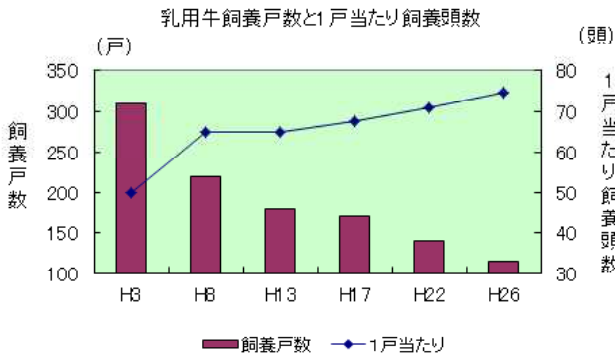


※ 2015 世界農林業センサスより

(5) 規模拡大化する畜産経営

乳牛、肉牛飼養戸数は減少してきたが、1戸当たり飼養頭数は年々増加し、大規模化が進行している。

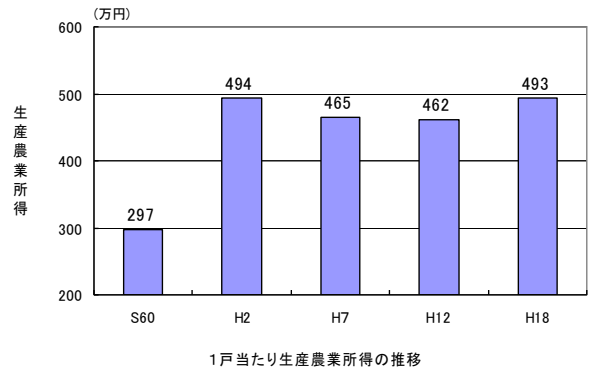
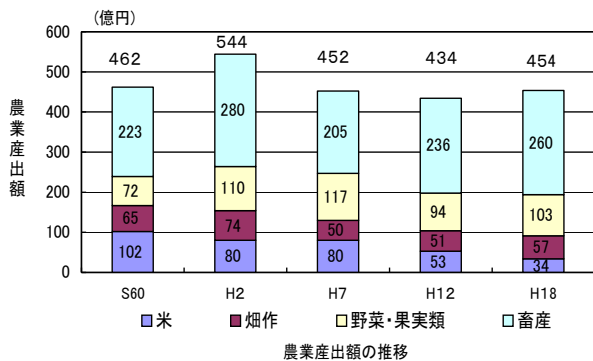
黒毛和種の肉専用種が全体の約9割を占め、「白老牛」が道内有数のブランドの地位を確立している。



※ H3 ~ H22 : 世界農林業センサス、H26 : 道農政部

(6) 農業産出額と生産農業所得の推移

米と畑作物産出額が減少する中で、野菜は横ばい、畜産は増加傾向にあって、農業産出に占める野菜と畜産産出額のウェイトが高まっている。平成18年の農業産出額は約454億円。そのうち耕種部門が194億円(43%)、畜産部門が260億円(57%)を占めている。1戸当たりの生産農業所得493万円である。なお、この金額には水田農業構造改革交付金等が含まれている。



※ 農林業センサス・北海道農林水産統計年報 (総合編 : 平成18~19年)